

エコアクション21

2019 年度 環境経営レポート

対象期間：2019年1月1日～12月31日

株式会社コスモ・サイエンス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号

TEL 0463-51-2031

FAX 0463-51-2034

<http://www.cosmo-science.co.jp/>

E-mail: info@cosmo-science.co.jp

発行：2020年5月13日

— 会社概要 —

- (1) 名称
株式会社コスモ・サイエンス
 - (2) 所在地
〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号
 - (3) 代表者
代表取締役 松尾 昭憲
 - (4) 環境管理責任者
品質保証室 室長 竹内 祥史
E-mail: yoshifumi_takeuchi@cosmo-science.co.jp
TEL 0463-51-2031
FAX 0463-51-2034
 - (5) 事業内容
真空及び一般装置設計・製作、真空及び一般装置受託製造、真空及び一般装置修理・改造・移設、各種配管設計・施工、部品加工・販売
 - (6) 事業規模等
 - 1) 資本金：1,000万円
 - 2) 売上高：12億94百万円（2018年7月～2019年6月）
 - 3) 従業員：85名（対象範囲）2020年1月末現在
- （対象範囲は本社とする。製造部裾野事業所は顧客の工場に常駐し、同工場はISO-14001認証を取得しその指導下で活動をしている為、EA21登録範囲から除く。）
- 4) 敷地面積：3,710m²
 - 5) 延床面積：2,576m²
 - 6) 事業年度：7月～翌年度6月
 - 7) 実施及び運用期間：2019年1月～2019年12月

—環境経営方針—

株式会社 コスモ・サイエンスは、真空装置を主とした製品・サービスの提供を通して社会に貢献するとともに地球環境保全に配慮し全社を挙げて継続的に環境負荷の低減に取り組みます

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を把握し、環境負荷の低減に努めます。
2. 環境関連の法規制、条例及び要求事項を遵守します。
3. 環境経営方針を全従業員に周知・徹底します。
4. 環境経営レポートを作成し、公表します。

2019年7月1日制定
株式会社 コスモ・サイエンス

代表取締役 

— 環境負荷の状況 —

項目	2010年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
電力	464.11千kWh	396.42千kWh	436.43千kWh	403,87千kWh	522.2千kWh	592.1千kWh	612.4千kWh	585.7千kWh
CO2総排出量	データなし	172,719kg	185,499kg	179,740kg	225,930kg	253,139kg	299,253kg	264,919kg
産業廃棄物	データなし	データなし	データなし	9,370kg	11,439kg	11,136kg	21,661kg	12,965kg
一般廃棄物	データなし	6,552 kg	7,281 kg	6,018kg	6,336kg	8,899kg	13,846kg	7,657kg
水道	335 m ³	497 m ³	577 m ³	539 m ³	564 m ³	635 m ³	687 m ³	641 m ³
化学物質	ジクロロメタン	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
	IPA	266 kg	196 kg	252 kg	182 kg	182 kg	238 kg	224 kg

— 環境経営目標 —

2019年7月1日

取組項目	基準年	年次目標		
	【2010～11年度】 2010年7月 ～ 2011年6月	【2019年度】 2019年1月 ～ 2019年12月	【2020年度】 2020年1月 ～ 2020年12月	【2021年度】 2021年1月 ～ 2021年12月
(1) 二酸化炭素排出量の削減				
1) 電力使用量の削減	基準年度実績 464,113 kWh	基準年度同月比 9 %削減 総量 or 売上高比	基準年度同月比 10 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 11 %削減 総量 or 売上高比
2) ガソリン使用量の削減	基準年度実績 7,741 ㍓	基準年度同月比 9 %削減 総量 or 売上高比	基準年度同月比 10 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 11 %削減 総量 or 売上高比
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び抑制・削減 (目標設定)				
1) 段ボール	基準年度値 (2014年) 1%削減 220 kg/月	基準年度比 6 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 7 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 8 %削減 総量 or 売上高比
2) 雑誌・本類など	基準年度値 (2014年) 1%削減 150 kg/月	基準年度比 6 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 7 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 8 %削減 総量 or 売上高比
3) 燃やせるゴミ	基準年度値 (2014年) 1%削減 200 kg/月	基準年度比 6 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 7 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 8 %削減 総量 or 売上高比
4) 産業廃棄物	基準年度値(新) (2019年) 1%削減 1,816kg/月	基準年度比 1 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 2 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 3 %削減 総量 or 売上高比
(3) コピー用紙使用量の適切な管理及び抑制・削減				
コピー用紙購入量の削減	基準年度値(新) 240,000 枚 (A4 換算) 4 %削減	基準年度同月比 9 %削減 総量 or 売上高比	基準年度同月比 10 %削減 総量 or 売上高比	基準年度同月比 11 %削減 総量 or 売上高比
(4) 水道使用量の適切な管理及び抑制・削減				
水道使用量の抑制・削減	基準年度値 (2014年) 1%削減 50 m ³ /月	基準年度比 6 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 7 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 8 %削減 総量 or 売上高比
(5) グリーン購入の推進				
事務用品についてグリーン商品購入金額比率を高める(代替品有り品目対象) 90%		グリーン比率 95 %	グリーン比率 96 %	グリーン比率 97 %
(6) 有害化学物質の使用量「0」				
(7) 製品・サービス(環境負荷の少ない梱包推進、使用量の削減)				
梱包材使用量の削減	基準年度値 (2014年) 1%削減 60 kg/月	基準年度比 6 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 7 %削減 総量 or 売上高比	基準年度比 8 %削減 総量 or 売上高比

— 環境経営計画 —

(1) 二酸化炭素排出量の削減

1) 購入電力の抑制

- ・ピークデマンドモニタリング機器（2器）の活用により節電に努める。
- ・空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃を目処に）を徹底する。
- ・空調を必要な区域、時間に限定する。
- ・照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を進める。

2) 自動車燃料の使用量の節約及び燃費の改善（エコドライブの推進）

- ・ふんわりアクセル
- ・加減速の少ない運転
- ・早めのアクセルオフ

(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 廃棄物分別の徹底と計量の実施

- ・一般廃棄物の適切な管理。
- ・産業廃棄物の適切な管理。

2) コピー用紙購入量の削減

- ・裏紙を積極的に利用する。
- ・両面コピーを活用する。
- ・電子化を推進する。

(3) 水道使用量の把握

- ・使用量を把握し、異常値などの早期確認と節水の推進をする。

(4) グリーン購入の推進

- ・事務用品についてグリーン商品代替品購入金額比率を高める。

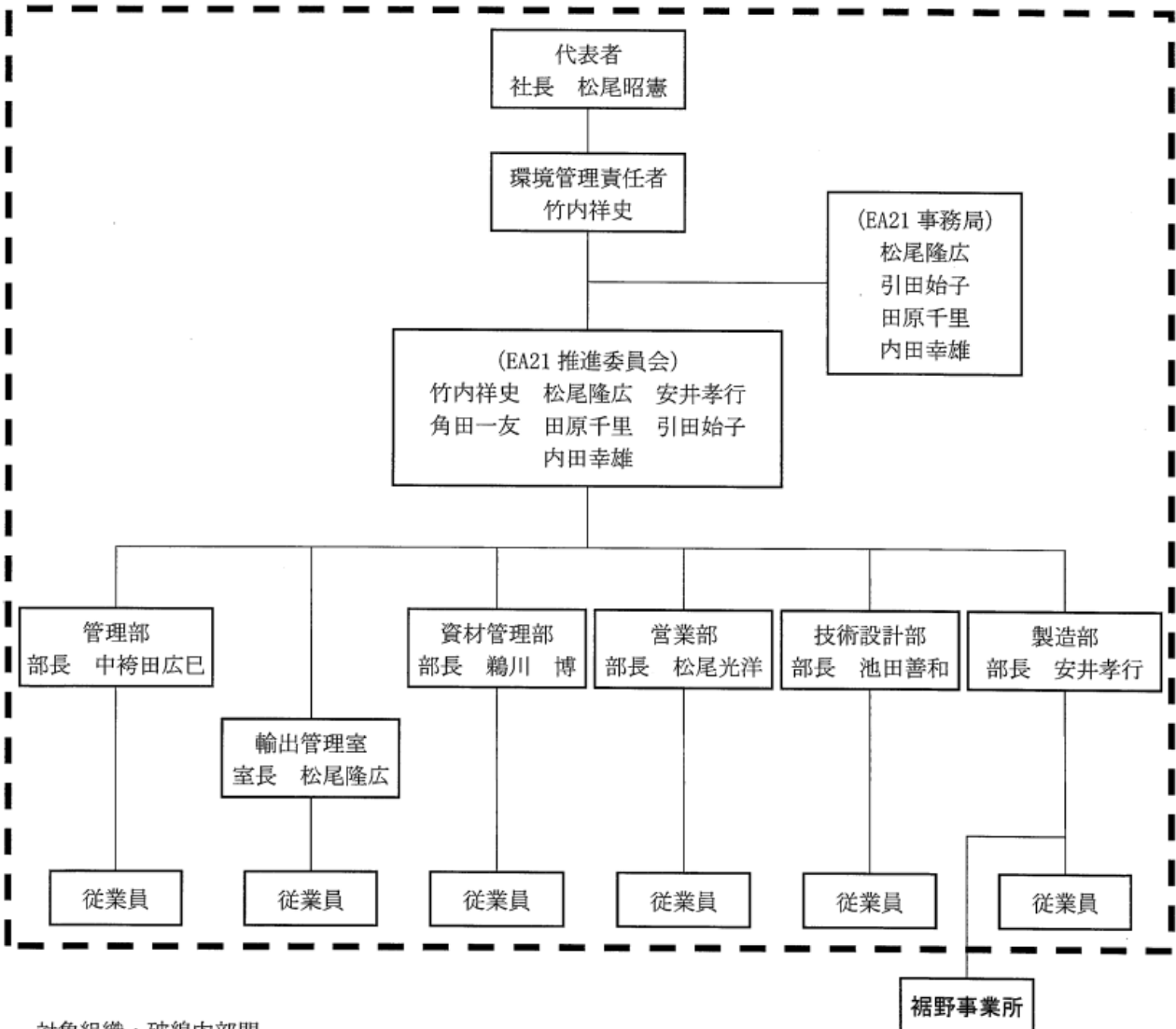
(5) 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

- ・化学物質の適切な管理を実行する。
- ・有害化学物質使用量の抑制を行う。

(6) 環境負荷の少ない梱包の実施

- ・発注量をモニタリングして、使用量の抑制を推進する。

—環境経営システム組織図—



対象組織：破線内部門

除外組織：製造部裾野事業所

製造部裾野事業所は、ISO14001の認証取得済みの顧客工場に常駐し、顧客の指導下で活動をしているため、本登録範囲から除く。

— 環境経営システム 役割・責任・権限表 —

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
EA21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21 推進委員会の事務局 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開 (社外向けホームページへの掲載と地域事務局への送付)
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

— 2019年1月～12月の環境経営目標と実績とその評価 —

1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 目標：電力使用量(kWh)の削減 基準年度比9%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	41319	44139	35099	35622	29660	28752	47784	47976	41146	41625	33974	37017	464,113
目標値	37600	40166	31940	32416	26991	26164	43483	43658	37443	37879	30916	33685	422,343
原単位実績値	12638	22332	20860	21623	22061	16705	17208	17734	13946	14768	12598	17158	209,630
目標値比(累計)	-66%	-55%	-49%	-46%	-41%	-40%	-44%	-46%	-48%	-50%	-50%	-50%	-50%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	(冬季) ・エアコン設定温度 20℃ ・照明、適切な on-off			・照明、適切な on-off			(夏季) ・エアコン設定温度 28℃(事務所) 25℃(事務所以外) ・照明、適切な on-off ・遮光遮熱シート取付 (2階事務所) ・ピークデマンド管理			(冬季) ・エアコン設定温度 20℃ ・照明、適切な on-off ・ピークデマンド管理			
評価	日々の活動で、電力使用量の「見える化」(ピークデマンド管理)による節電意識の向上、冷暖房機器、照明のこまめな on-off 等の節電活動を継続しており、目標値を達成している。今後も、この活動を継続していく。												

2) 目標：ガソリン使用量(リットル)の削減 基準年度比9%削減 (近距離・遠距離の区分廃止)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	529	669	776	573	583	566	584	614	738	521	713	876	7,742
目標値	481	609	705	521	531	515	531	559	672	474	649	797	7,045
原単位実績値	81	243	103	150	148	108	98	102	138	127	228	238	1,764
目標値比(累計)	-83%	-70%	-76%	-75%	-75%	-75%	-76%	-77%	-77%	-77%	-76%	-75%	-75%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。												
評価	業務量の増加に伴う物流運搬や出張作業業務の増加により、2月、11月、12月に使用量が増加したが、単月、累積ともに目標値はクリアした。												

3) 目標：軽油使用量(リットル)の削減 基準年度比9%削減 2018年度より管理項目に追加

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	55	70	146	165	87	128	56	132	0	185	138	70	1,231
目標値	50	64	133	150	79	116	51	120	0	168	126	63	1,120
原単位実績値	105	143	150	163	101	75	117	112	88	149	53	133	1,389
目標値比(累計)	109%	118%	61%	41%	39%	25%	33%	27%	38%	29%	19%	24%	24%
結果	×	×	×	×	×	△	×	△	×	△	△	×	×
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。												
評価	基準年度から車両数が増加しているため、単月で目標達成した月もあるが、累積では全月目標未達となった。												

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)の削減 基準年度比 9%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年度値	16,824	18,242	15,303	15,078	12,673	12,399	19,372
目標値	15,310	16,600	13,926	13,721	11,532	11,283	17,629
実績値(原単位)	5,716	10,223	9,306	9,764	9,783	7,394	7,687
目標値比(累計)	-63%	-50%	-45%	-41%	-37%	-37%	-40%
結果	○	○	○	○	○	○	○

項目	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	19,710	17,102	17,255	14,719	16,058	194,735
目標値	17,936	15,563	15,702	13,394	14,613	177,209
実績値(原単位)	7,904	6,350	6,822	5,905	8,035	94,890
目標値比(累計)	-43%	-44%	-46%	-47%	-46%	-46%
結果	○	○	○	○	○	○

評価	<p>軽油の使用量が目標未達であったが、電気使用量、ガソリン使用量が大幅に目標達成したため、二酸化炭素排出量は、単月、累積ともに目標達成している。 なお、ガソリン使用量、軽油使用量は、保有車両台数を考慮した目標値とするために、来年度より算出方法を変更する。</p>					
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--

電力の二酸化炭素排出係数：0.374 kg-CO₂/kWh (基準年度)
 0.416 kg-CO₂/kWh (2019年度)

2. 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 目標：一般廃棄物分別の徹底と使用量削減。

基準値（月）：段ボール(220kg)/雑誌・本類(150kg)/燃せるゴミ(200kg) 2019年度目標：6%削減

項目	月間目標	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	結果
段ボール	207	197	365	207	326	143	128	113	84	108	147	125	121	2,065	△
雑誌・本類等	141	26	5	14	13	12	12	10	12	15	19	14	30	181	○
燃せるごみ	188	56	44	27	82	30	41	48	32	60	33	35	53	541	○
合計	536	280	413	248	421	186	180	171	128	184	198	174	204	2,787	○
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。														
評価	段ボールについては受入量・製造量の変化に伴い使用量の抑制は難しく、原単位評価でも、前半で目標値を上回った。その他の活動項目も含めた総排出量については、抑制がなされ、目標値を達成した。														

2) 目標：産業廃棄物分別の月定と使用量削減

基準値（累積）：基準年度比1%削減（基準年度累積実績値（合計値）：2018年 21,793kg）

項目		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価	
汚泥	目標値	0.10	0.20	0.30	0.40	0.50	0.59	0.69	0.79	0.89	0.99	1.09	1.19	○	
	実績値 (原単位)	0.00	0.00	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94		
廃油	目標値	16.8	33.7	50.5	67.3	84.2	101.0	117.8	134.6	151.5	168.3	185.1	202.0	○	
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	178.6	178.6	178.6	178.6	178.6	178.6	178.6	178.6	178.6	178.6		
混合廃棄物	目標値	12.9	25.7	38.6	51.5	64.4	77.2	90.1	103.0	115.8	128.7	141.6	154.4	○	
	実績値 (原単位)	0.0	20.0	33.5	33.5	46.0	46.0	58.0	58.0	68.5	68.5	79.9	79.9		
廃プラスチック類	目標値	606	1,212	1,818	2,424	3,029	3,635	4,241	4,847	5,453	6,059	6,665	7,271	○	
	実績値 (原単位)	0	722	1,638	1,638	2,562	2,562	3,405	3,405	4,097	4,097	4,867	4,867		
木くず	目標値	1,147	2,295	3,442	4,590	5,737	6,884	8,032	9,179	10,327	11,474	12,622	13,769	○	
	実績値 (原単位)	0	0	2,156	2,156	4,192	4,192	6,550	6,550	6,550	8,023	8,023	10,262		
引火性廃油	目標値	14.9	29.7	44.6	59.4	74.3	89.1	104.0	118.8	133.7	148.5	163.4	178.2	○	
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	137.4	137.4	137.4	137.4	137.4	137.4	137.4	137.4	137.4	137.4		
合計	基準年度値	1,816	3,632	5,448	7,264	9,081	10,897	12,713	14,529	16,345	18,161	19,977	21,793	○	
	目標値	1,798	3,596	5,394	7,192	8,990	10,788	12,586	14,384	16,181	17,979	19,777	21,575		
	実績値 (原単位)	0	742	4,144	4,144	7,117	7,117	10,330	10,330	11,032	12,506	13,287	15,526		
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。														
評価	3月に汚泥、廃油、引火性廃油をまとめて廃棄したため、これらの項目は11月まで目標未達となったが、年間目標は達成した。他の項目、および全体としては、通年で目標を達成している。														

5. コピー用紙使用量の適切な管理

目標：コピー用紙購入量（枚）の削減 基準年度比 5%削減(A4 換算)

基準値の変更：製品カタログ作成、引合い・受注件数の増大によるコピー使用量の増加不可避の為

(新基準値の設定： 月 20,000 枚、年間 240,000 枚 / 2019 年度は新基準値の 9%削減)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	240,000
目標値	18200	18200	18200	18200	18200	18200	18200	18200	18200	18200	18200	18200	218,400
実績値(原単位)	4412	8531	4483	9746	3419	4545	5590	3641	4,075	4659	6360	6923	66,385
目標値比(累計)	-76%	-64%	-68%	-63%	-66%	-68%	-68%	-70%	-70%	-71%	-70%	-70%	-70%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	裏紙の利用、両面コピーの徹底、ネットワーク情報の活用による、紙使用の低減など。												
評価	裏紙、両面コピーの徹底、及び帳票類や提出書類の一部の電子化等の紙使用量削減の取組みを行い、原単位評価での目標値は達成した。												

4. 水道使用量の適切な管理

取組項目：水道使用量（ m^3 ）の管理・抑制 基準値：50 m^3 /月 600 m^3 /年、2019 年度 6%削減)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	600.0
目標値	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	564.0
実績値(原単位)	15.2	25.0	18.3	22.9	22.1	17.9	18.8	13.3	19.3	19.2	17.1	21.2	230
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	節水シールの貼付、およびペットボトルの挿入によりトイレの排水/1回の減水継続。毎週の水道使用量を計測し、異常事態発生監視継続中。												
評価	使用状況には異常値は認められない。2019 年度目標は達成した。												

5. グリーン購入の推進

取組項目：事務用品グリーン購入の推進

購入品の内グリーン調達代替品なしの品目があるため、活動対象を代替品有り品目に限定

取組項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
比率 目標 95%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
グリーン購入品 ¥	9950	13136	11441	17140	6475	8933	14490	7160	8995	9100	15416	20675	142,911
事務用品全額 ¥	9950	13136	11441	17140	6475	8933	14490	7160	8995	9100	15416	20675	142,911
活動内容	事務用品グリーン購入品目の拡大推進。												
評価	2019 年度はグリーン購入率 100%で目標値は達成した。												

6. 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

取組項目：化学物質の適切な管理、および有害化学物質（ジクロロメタン）使用停止。

取組項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
ジクロロメタン(kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IPA(kg)	0	42	14	42	0	42	0	42	0	0	42	0	224
活動内容	化学物質の管理適正化および使用量の抑制。代替品による有害化学物質の使用停止。												
評価	代替溶剤の導入によりジクロロメタン使用は停止している。IPAの使用量は、生過剰な購入・保管はなく、適正範囲内と判断している。												

7. 製品・サービス

目標：環境負荷の少ない梱包 目標値設定による使用量の抑制（基準値：60kg/月、2019年度6%削減）

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標 kg	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4
目標累計	56.4	112.8	169.2	225.6	282.0	338.4	394.8	451.2	507.6	564.0	620.4	676.8
実績、原単位評価	16.8	74.8	40.2	61.6	26.5	43.4	39.0	24.3	30.7	36.4	32.5	59.4
原単位実績累計	16.8	91.6	131.8	193.4	219.9	263.3	302.3	326.6	357.3	393.7	426.2	485.6
結果	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△
活動内容	梱包材の購入量の計測、目標値の設定による使用量の抑制。											
評価	2月、4月、12月は単月で未達であったが、その他の月、及び累積では目標達成。											

— 次年度（2020年度）以降の取組み内容 —

取組項目	次年度の取組み内容
(1) 二酸化炭素排出量の削減	
1) 電力使用量の削減	生産増加見込み → ピークデマンド管理 → 増加抑制。 設備更新時は省エネ設備を検討し導入する。
2) ガソリン使用量の削減	現在の活動を継続する。
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減	
1) 一般廃棄物の適切な管理	廃棄物の分別管理を基本とする現在の活動を継続する。
2) 産業廃棄物の適切な管理	
(3) コピー用紙購入量の削減	受注・生産増加に伴い、書類が増加している。目標値が達成できるよう活動を継続する。
(4) 水道使用量の適切な管理	現在の活動を継続し、進捗を確認しながら目標を達成する。
(5) グリーン購入の推進	代替品が有るものは活用する。2020年度目標(96.0%)を達成する。
(6) 化学物質	化学物質購入量の管理を継続する。
(7) 環境負荷の少ない梱包	自社設計・製造装置類の受注増加により使用量増加している。原単位管理をしていく。

— 環境関連法規等の遵守状況、違反、訴訟の有無 —

No	主要な法規	項目	確認内容	評価
1	廃棄物処理法	一般廃棄物	契約書の確認	○
		産業廃棄物	契約書の確認	○
			マニフェスト管理	○
		特別管理産業廃棄物	契約書の確認	○
マニフェスト管理	○			
2	フロン排出抑制法	第1種特定製品の廃棄	登録書、引渡書の確認	○
		第1種特定製品の簡易点検	点検記録の確認	○
		電動機定格出力 7.5kW 以上の第1種特定製品の定期点検	点検記録の確認	○
3	消防法	防火管理者、消防計画	提出済	○

環境関連法規等の遵守評価を行い、確認の結果、環境関連法規等に関する違反はありません。関係当局による指摘もありません。環境関連に関して苦情の発生・訴訟もありません。

— 代表者による全体評価と見直し記録 —

<p>評価</p>	<p>【環境活動全般について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回指示した、化学物質の有害性と危険性に関する従業員への教育・啓蒙活動の強化については、安全教育へのとりこみ、SDSの掲示等が実施されましたが、まだ十分ではありません。引き続き上記活動を継続するとともに、内容の充実を検討し、更なる安全意識の向上を図るよう指示しました。 ・2019年12月に、職場環境改善・省エネの目的で、クリーンルームの照明を水銀灯からLEDに変更しました。更に2020年5月にクリーンルーム空調機を省エネタイプへ変更することを計画しており、2020年以降、電気使用量の低減が期待できます。今後も、長期的な経営視点で、設備の更新等環境負荷の低減につながる投資を行っていく予定です。 <p>【前回審査時の指摘事項への取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の審査結果の評価で、推奨事項として、環境経営目標、環境経営計画の中に、産業廃棄物の管理・削減に関する活動が盛り込まれていないとの指摘がありました。このため、環境経営目標、環境経営計画に産業廃棄物の排出量を管理項目として追加するとともに廃棄物処理費用を明確にすることとしました。 ・また、環境に関するコミュニケーションに関して、他社からの監査についてもコミュニケーション記録に記載するべきとの指摘（推奨事項）については、今年度より、お客様監査結果を、コミュニケーション記録に記載し、お客様からの指摘事項、要望事項等については、関係部門に展開して共有化を図っていくこととしました。
<p>見直し</p>	<p>見直し（変更）が必要と判断した項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 環境経営方針の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input checked="" type="checkbox"/> 環境経営目標、環境経営計画の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input checked="" type="checkbox"/> 環境経営システム（マニュアル、運用手順等）の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input type="checkbox"/> その他、_____の見直し（変更）が必要と判断しました。 <p>見直しの内容（改訂文書名、改定内容 等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標および環境経営計画の「廃棄物排出量の適切な管理及び削減」に「産業廃棄物」の項目を追加し、管理目標値を明確にしました。 ・2019年7月の組織変更に伴い、環境経営システム組織図を見直しました。